

大船渡のプレミアム料理フルコース

食材の持つ魅力を感じる

12月6日、魚市場で、フレンチ・イタリアンのシェフ小野貴史さんを招き「大船渡のプレミアム料理フルコース」の試食会が行われました。

大船渡の食材が持つ魅力と可能性を感じてもらおうと“さかなグルメのまち大船渡実行委員会”が企画したもので、参加した市民は、地元の食材をぜいたくに使用したフルコースを堪能しました。

7日には「さんま料理教室」が開かれました。



岩手県立大学地方創生公開セミナー

地方創生の機運を高める

12月16日、魚市場で、岩手県立大学地方創生公開セミナーが行われました。

同セミナーでは、本市における地方創生と国際リニアコライダー（ILC）計画との関わりやその将来性などについて、同大学の鈴木厚人学長などの講演やパネルディスカッションが行われました。

参加者は、地方創生やILC誘致実現への機運の高まりを感じる機会となりました。



(7) 広報大船渡 30.1.9(No.1118)

公開シンポジウム「最新研究からよみがえる縄文時代人」

縄文時代人に理解を深め



12月9日、リアスホールで、「最新研究からよみがえる縄文時代人」をテーマとした公開シンポジウムが行われました。

復興関連発掘調査で野々前・長谷堂貝塚から見つかった縄文人骨資料の研究結果の発表や出土人骨や復顔模型の展示が行われ、参加者は、歯や食性などから当時の暮らしの様子を学び、縄文時代人像について理解を深めました。

花巻農業高校 門松贈呈

心がこもった門松を贈呈



12月18日、市役所で、花巻農業高校環境科学科緑化系の生徒が門松の設置・贈呈を行いました。

寒い中、生徒たちは、土台に竹を立てたり、松の枝や梅・ナンテンの造花で飾り付けたりして、約1時間の作業で見事な門松を完成させました。

同科の2・3年生は、平成24年度から被災地に門松を贈る活動をしており、大船渡市役所への贈呈は平成25年度以来2回目となりました。

トピックス 1

ワーク・ライフ・バランス推進セミナー

11月30日、リアスホールで、「ワーク・ライフ・バランス推進セミナー」を開催しました。

セミナーには、市内企業の事業主や労働者などが参加。戸田市長による市の施策の説明、岩手労働局による働き方改革に関する講演や市内2事業所における職場づくりの好事例発表が行われました。

気仙管内では、有効求人倍率が1.5倍を超える一方で、多くの産業分野で労働力不足が深刻化しています。市では、岩手労働局・ハローワーク大船渡と連携し、少子高齢化・人口減少問題と向き合いつつ、ワーク・ライフ・バランス推進に取り組んでいます。



①人口減少に対応する総合戦略の施策を説明する戸田市長
②働き方改革について講演する岩手労働局石原房子室長

トピックス 2

首都圏さんりく大船渡人会の集い

12月2日、東京都内で、「第33回首都圏さんりく大船渡人会の集い」が開かれました。

集いには、会員や来賓、市の関係者など151人が参加し、平成28年度の事業活動報告や平成29年度の事業活動方針などについて、会員相互で確認しました。

本市出身の首都圏在住者約1,200人の会員で組織する本会は、郷土愛に基づき、会員相互の親睦と啓発を図るとともに、ふるさとの発展に寄与するため、市が首都圏で開催するイベントなどを全面的に支援・協力しています。



①復興および市政発展への支援・協力に対し感謝の意を述べる戸田市長
②ふるさと大船渡を思いながら、親睦を深めました

トピックス 3

年末年始特別警戒合同出動式

12月15日、シーパル大船渡で、年末年始特別警戒合同出動式を行いました。

出動式には、大船渡警察署や防犯協会、交通安全協会、少年警察ボランティアなどの関係者約70人が出席。戸田市長が「市民の皆さんが穏やかな新年を迎えられるよう、関係機関が連携し活動を進めてほしい」とあいさつし、高橋大船渡警察署長が防犯と事故防止の積極的な活動と呼び掛けました。

特別警戒は、安全な地域づくりのため、各団体が協力し、毎年実施。今後、年末年始に向け、パトロールや啓発チラシの配布などの活動を行っていきます。



①出動申告する市防犯協会連合会防犯隊の金野宏隊長
②地域の安全を守るため夜間パトロールに出動